

# 第2回タウンミーティング

平成28年1月31日(日)

墨田区区民活動推進部区民活動推進課

午前10時00分開会

司会 皆様おはようございます。朝早くからお越しいただきましてありがとうございます。

ただいまから、「すみだタウンミーティング」を開催いたします。私は、司会進行を務めさせていただきます企画運営委員の近藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

(拍手)

なお、本日はビデオ撮影、それからユーストリームによる動画配信を行っております。あらかじめご承知おきください。よろしくお願いいたします。

それでは、開会に先立ちまして、委員の品川から、本日の趣旨を説明いたします。よろしくお願いいたします。

品川 皆様おはようございます。高いところから失礼いたしますが、企画運営の品川と申します。本日は、このようにたくさんの方にお越しいただきまことにありがとうございます。

このタウンミーティングは、企画運営を地域で活動する人材育成を目的としたすみだガバナンスリーダー養成講座の修了生を中心に組織した企画運営委員会で行っています。本日も、現役の4期生が手伝ってくれています。

企画運営委員会では、昨年11月から事前会議を行い、さまざまな検討を重ねてまいりました。その中で、本日設けさせていただいていますテーマとは、「住みたい・住み続けたいまち すみだ」です。最近のシティプロモーションのアンケート結果によりますと、墨田区に愛着を持っている、誇りを持っているという方が非常に多かったのですが、本日は、皆様のお声を少しでも多くお聞きし、実りある会にしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、山本区長にご挨拶をいただきます。皆様、拍手でお迎えください。

山本区長どうぞ。(拍手)

区長 どうも皆さんおはようございます。今日は、日曜日の朝早くから、ここ本所地域プラザBIG SHIPに、このようにたくさんの区民の皆様がご集合、ご参加をいただきまして本当にありがとうございます。今日は、第1回に引き続いて2回目の墨田区タウンミーティングということで、今ガバナンスリーダー品川さんのほうからお話がありましたように、区民の皆さん方が主体で、このタウンミーティングを開催していただきました。

こんなにたくさんの皆さんと直接意見交換ができる、皆さんのご要望が聞けるということで、本当にうれしく思いますし、今日は楽しみにしてまいりました。どうぞ有意義な時間になるように、そして限られた時間ではありますけれども、皆さんからの声をしっかり伺って、

区政に生かしたいというふうに思います。

区長になりまして、9カ月やらせていただいております。その間色々な会合や、いろいろな地域で区民の皆さんとお会いしたり、各企業や団体の皆さんにご協力をいただいたり、ご尽力をいただいたり、そういう場面に数多く出会いました。その中で、墨田区には、今までの歴史や伝統があるわけですがけれども、本当に地域の皆さんの力というものが大切であり、そういう皆さんによってこのまちは一步一步前進をしてきて今があるんだということも感じるわけであります。

その中で、区長選挙では、私としては、今ある墨田区の可能性を民間感覚、そして区民の目線でさらなる可能性を引き出していこうと、そして墨田区をつくっていこうということも申し上げさせていただきました。

さらには、スピード感、スピード感ある区民に開かれた区政を私は展開をしていきたいということも申し上げさせていただきました。

その中で、やっぱり一番大事なのは、こうした皆さんの声を聞く機会をたくさんつくって、直接伺います。すぐにできること、それから、やっぱりどう考えてもできないこと、色々あるとは思いますが、できないことを考えるのではなくて、できるためにはどうしたらいいんだということを職員と共有しながら、皆さんの声を区政の前進に、生かしていきたいというふうに考えております。ですから、こういう機会の中で、忌憚のないご意見をちょうだいして、これからの区政に生かしていくということが今日の意義であるというふうに思っております。

そして、今日のテーマでありますけれども、「住みたい・住み続けたいまち すみだ」、これをつくっていこうということで、いろいろガバナンスリーダーの皆さんとお話をしながら、じゃこんなテーマで今回はやってみよう、初めての試みですので、やってみようということで、このテーマのもとにいろいろな話をさせていただきたいと、ご質問をちょうだいしたいというふうに思いますが、20代、30代、40代、その方たちの人口が今46%になりました。それで、昨年5月に、墨田区は26万人、人口が突破をしたわけですがけれども、そのうちの46%が20代、30代、40代のいわゆる子育て世代の皆さん、そういう世代の皆さんが、墨田に魅力を感じ、住んでいただいているということがひとつあります。

それから、一方で、65歳以上の高齢者と言われる方々の人口ですが、今、22.8%、大体これからもっともっと進んでいくんだなというお話もありますけれども、こういう人口構成の中で、若い世代の皆さんたちにはこのまちに魅力を感じて、このまちに住んで、子育てを

してよかったなと思ってもらわなければいけないですし、一方、高齢者の皆さんにも、ああこのまちで老後を過ごしてよかったと、本当に優しいまちだと、みんなで力を合わせて、本当にこのまちのこの雰囲気大好きなんだと、これを若い世代に伝えていくんだと、こういうまちづくり、人づくりをしていきたいというふうに考えています。

色々最初に申し上げましたけれども、そんなところも踏まえて、私の考え、簡単に申し上げさせていただきましたが、そういう意味で、今日は「住みたい・住み続けたいまち すみだ」、これにつきまして皆さんからご意見をいただきたいというふうに思います。

重ねて、こうしてお忙しい中、お休みのところ、ご参加をしていただいた皆さんに心から感謝を申し上げて、今日のスタートのご挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくをお願いします。ありがとうございました。(拍手)

司会 区長、ありがとうございました。

区長の意気込み伝わってまいりましたね。

では、次のコーナーに移らせていただきます。

藤方さん、お願いいたします。

藤方 企画委員の藤方です。よろしくお願いいたします。

本日は、区長にお越しいただいておりますので緊張されている方もいらっしゃるかと思いますが、私が今一番緊張しているんです。リラックスと脳トレも兼ねまして、皆さん対話する場面もございますので、声出しも兼ねまして、皆さんと区長にちょっとクイズに挑戦していただきたいと思います。

では、早速始めさせていただきますので、皆様声に出して、身振り手振りで合図していただく場面もございますので、体を動かしていただければと思います。

まず、すみだガバナンスリーダー養成講座卒業生でもある「すみだすみずみほりおこし隊」 - 略して「すみほり隊」の「すみだトリビアかるた」からの問題になります。どのぐらい墨田区を皆さん知っていらっしゃいますか。ちょっとクイズをしてみたいかと思っておりますので、脳をフル回転させてください。

まず1問目に行きます。

江東橋ガードレールはマッチ棒の形をしている。 か×か。

皆さん、 と思う方は手で を、×と思う方は手で×の合図をしてください。

運でも構いません。 か×か、わからない方は直感で構いませんので。

江東橋のガードレールはマッチ棒の形をしているか。 か×かになります。

( 挙手する者あり )

藤方 いいでしょうか、皆様、江東橋のガードレールです。 か×で。わからない方は運だめしでお願いいたします。

答えのほう行きます。正解は です。

今、スクリーンに映りますけれども、江東橋のガードレールはマッチ棒の形をしています。今の両国高校の場所にあった会社が、日本で初めてマッチを製造をしたことによるものだそうです。両国高校には、国産マッチ発祥の地の碑があります。皆さん機会がありましたらぜひ見に行ってください。

ここでトリビアかるたを一句出します。

「江東橋 ガードレールは マッチの形」、カルタの一句になります。皆さんぜひ、ここで一緒に声を発すると覚えますので、全員で、声に出してみたいと思います。

これから発表する方いらっしゃいますので、ぜひ大きな声で出していただけだと思います。

「はい」の合図で皆さん行きますよ。皆さん「はい」。

(「江東橋 ガードレールは マッチの形」全員で復唱)

藤方 ぜひ覚えてくださいね。帰りまでにぜひ覚えていただければと思います。

2問目に移りたいと思います。

2問目は、回向院にはオットセイのお墓がある。 か×か。

回向院にはオットセイのお墓があるか、 か×か。南部地域なので、皆さん知っているかと思いますが、 か×か手で合図を、わからない方は今日の運試しです。

( 挙手する者あり )

藤方 正解は になります。さすが皆様知っていらっしゃいます。

回向院にはオットセイのお墓があります。そのほか、色々な動物のお墓もあるようです。

では、ここで最後のトリビアのかるたを一句スクリーンに出します。

「回向院 オットセイのお墓あり」、ここでまた声を出しますと脳が刺激されて、発表が緊張せずにできるようになりますので、ぜひ皆さんで声に出したいと思います。

行きますよ。はい。

(「回向院 オットセイのお墓あり」全員で復唱)

藤方 ぜひ覚えてください。

ここで、ちょっと趣向を変えまして、区長についての問題を出したいと思いますので、区

長さんは答えずにいただければと思います。

3問目になります。

区長の得意なスポーツは柔道である。 の方いませんか。×が多いようですけれども。

(挙手する者あり)

司会 では、区長にお答えいただきたいと思います。

(「剣道」の声あり)

区長 言う前に、ありがとうございます。

剣道でございます、6歳から剣道を始めて、現在教士7段をやらせていただいております。(拍手)

ちなみに、高校の選択授業で柔道もとりまして、代々木で黒帯も初段でもらっていると初めて言いましたけれども。一応剣道が得意、7段です。ありがとうございます。(拍手)

藤方 短い時間でしたが、頭をちょっと活用いただきましたでしょうか。今、しゃべっている私も、まだすごい緊張しているんですけども、これから発表される方もリラックスして話していただければと思います。

では、本日のテーマに移りたいと思います。ありがとうございます。(拍手)

司会 それでは、チラシでもお知らせしてありますプログラムですね。本日のテーマ、「住みたい・住み続けたいまち すみだ」につきまして、皆様お一人の持ち時間30秒でございます。短いようで結構ありますし、「えーあー」と言っていますと終わってしまいますので、そこら辺皆さん頑張って発表していただきたいと思います。

では、希望される方、その場でちょっと手を挙げていただきたいと思うんですが、今日30秒発表するぞ、手を挙げていただけませんか。

質問 各時間30秒と3番の3分とあるじゃないですか、これってどういうふうに違うの。

司会 まず30秒コーナーは、色々な方にとにかくお声を出していただくということで30秒とってございます。その後は、また、そのテーマとは限らず、また3分ご意見をいただくことになっておりますので、別と考えていただいてもいいですし、連動ともなっております。

では、もう一度手をお願いいたします。話していらっしゃるうちに、あっ私もやろうかなという方はまたちょっと後で手を挙げていただいてもいいんですが。

では、こちらの、今、手を挙げてくださった方どうぞ舞台の上にご移動お願いいたします。

(質問者、登壇)

司会 では、お話しされる方々をお願いがございます。

まず最初に、お名前とどこにお住まいかというのをお話してください。それから、どんなテーマでなさいますかというテーマまでお聞きいたします。そこまで行きましたら、ここで「住みたい・住み続けたいまち すみだ」にするために大切なことはずばり何でしょうかとお聞きいたしますので、そこから30秒お話してください。30秒終わりますと、聞こえましたか。もう一度お願いいたします。この音が鳴りましたら終わりということになっておりますので、よろしくをお願いいたします。

では、口火を切っていただける方、はいどうぞ。

お名前とお住まいをお願いいたします。

ウエダ 立川二丁目からきましたウエダハルヨと申します。

司会 どのようなテーマでお話しいただけますか。

ウエダ 先ほど区長さんがおっしゃった、それぞれみんながお互いに優しいまち、これが住み続けたいまちだなと思うので、そのテーマでお話しさせていただきます。

司会 わかりました。

では、そのために大切なこと、ずばり何でしょうか。

ウエダ 私は、シルバーパスを使わせていただいている年金生活の高齢者です。そういう立場だと、やはり自分たちにとって優しいまち、それが一番関心事だったんですけども、今は、それ以上に、やっぱり子供たちの貧困、そのために私たち高齢者としても何ができるかを知りたい。何か活動したいと思います。でも、情報が何もありません。日本で子供たちが貧困ということを知りませんでした。だから、まず、その情報を教えてください。お願いいたします。(拍手)

司会 ありがとうございます。うまく入りましたね。

では、よろしくをお願いいたします。

お名前を、お願いいたします。

イケナガ 私、イケナガタカシと申します。横川二丁目に住んでおります。

司会 どのようなテーマで。

イケナガ 環境リサイクルとか、ごみについてのテーマです。

司会 わかりました。では、お願いします。

イケナガ 私は、いつも錦糸町駅を利用しているサラリーマンで、30代でございます。徒歩10分の道のりなのですが、よくごみとかが落ちていまして、途中の道でちょっと缶とか瓶だけは拾いながら通勤をしている者でして、そういうのがもしなくなればもっと住みやすい

のではないかなと思います。特に、最近スカイツリーとかできて、観光客とか、外国人の方とかもふえていると思いますが、一人一人の行動、心がけがあればいいと思います。ありがとうございました。(拍手)

司会 ありがとうございます。

では、どうぞ。お名前、お住まいをお願いいたします。

ワタナベ 東駒形四丁目から参りましたワタナベシンジと申します。

司会 どのようなテーマで。

ワタナベ 今回の住みやすいまち、住み続けたいまちとは若干ずれているかしれませんが、マラソン大会を墨田でというテーマで。

司会 力強いお言葉、では30秒スタートです。

ワタナベ マラソンを始めて10年ぐらいになるんですけども、墨田区民マラソンというのがないんですね。今、東京マラソンに始まって、すごいマラソンブームで、錦糸公園とかを見ても、走っている方がいっぱいいると思うんですけども、墨田区っていう冠名のついたマラソン大会がないのはすごく寂しくて、それをぜひ立ち上げていただけたら経済の活性化にもなると思います。(拍手)

司会 ありがとうございます。

では、よろしくをお願いいたします。

ハツク 緑一丁目から来ましたハツクカヨコと申します。

司会 どのようなテーマで。

ハツク 私は、よく自転車を使うんですけども、歩道によく植木鉢とか、木が生い茂ったりとかして、とても走りづらいところがあります。そのことについてきょうお話ししたいと思います。

司会 わかりました。

では、テーマに沿ってどうぞ。

ハツク 歩道を私物化して植木鉢をずっと置いていて、歩行者もそうですけれども、自転車で通るときもとても狭くて危ない箇所がたくさんあります、墨田には。それと、あとは、歩道に植木を植えていて、その葉っぱがずっと車道の端のほうに垂れ下がったりして、自転車が通るときに邪魔になる。そういったことについて、区長さんにお尋ねしたいなと思っています。

以上です。(拍手)



司会 ありがとうございます。

皆さんすごい30秒練習されてきましたか。ぴったり入っていますね。

どうぞ、お名前と住所をお願いいたします。

サワダ 石原町から来ましたサワダアキヒロです。

司会 どのようなテーマで。

サワダ 今回、災害についてお伺いしたいと思います。

司会 それでは、お願いします。

サワダ 本所保健センターの老朽化が今著しいことが気になっています。災害が起きたときに、本当に機能するのかが非常に心配です。区民の命を守り、区民が安全に住み続けるために、新しい保健センターの建設が必要だと思っておりますので、来年度予算案に入れていただきたいと思っております。ありがとうございました。(拍手)

司会 あと10秒ありますよ。

サワダ 区長、来年僕大学一年生なんで入れますのでお願いします。(拍手)

司会 ありがとうございます。

それでは、お願いいたします。

お名前と住所。

ヨコイ 石原一丁目から来ましたヨコイタカヒロと申します。よろしく申し上げます。

司会 テーマをお願いいたします。

ヨコイ 住みたいまちは、一言で言うと活気のあるまちであると私は思います。

司会 それでは、どうぞ。

ヨコイ まちづくりのキーワードとして、今後、シェアという言葉がものすごく大事になってくると思います。現在、空き家、廃校、廃施設などの利用方法を今後地域包括ケアや、子育て、教育の場として活用していくことが物すごく大切だと思っております。今後の活用方法を、安全対策について区長はどうお考えなのかということをお聞きしたいと思います。よろしく申し上げます。二児の父なので、今後の、子供たちの未来も考えて、よろしく申し上げます。(拍手)

司会 ありがとうございます。

それでは、お願いいたします。

お名前、住所。

タカハシ 石原四丁目のタカハシと申します。

司会 どのようなテーマで。

タカハシ 観光事業を初めとしたインバウンドについてです。

司会 それでは、どうぞ。

タカハシ インドネシア、マレーシアを初めとしたイスラム教徒の人の観光者が急増しています。イスラム教の礼拝場所となっているのは台東区が7軒で墨田区は1軒、いずれも民間です。この礼拝場所やハラールフードといったものが確立されると、集客は必ず来ます。沖縄で言うと、和室の礼拝堂でもいいみたいなので、そういったものをつくっていただければ集客は必ず来ると思います。(拍手)

司会 ありがとうございます。

それでは、どうぞ。

お名前、住所をお願いいたします。

マルヤマ 東向島三丁目から来ましたマルヤマキンゾウです。金の蔵です。大蔵大臣の蔵。江戸時代の名前みたいです。

司会 テーマをお願いいたします。どのようなテーマで。

マルヤマ 人生長く生きてきましたから、30秒じゃとにかく2時間ぐらいもらわないとそれでも終わりません。よろしくお願いします。

司会 チン鳴りますからね、どうぞ。

マルヤマ 今日は、区長にお尋ねしたいことはあります。よろしくお願いします。

司会 それだけでいいですか。後でお話しなさる。

マルヤマ 私は、公共工事の入札関係に長く携わってきました。その件でお尋ねしたいことがあります。(拍手)

司会 では、後ほどということになるんですね。

ありがとうございました。

では、今度、こちら側で手を挙げてくださった方、どうぞ舞台の上へお願いいたします。

また、こちら側でもちょっと言い忘れていたなという人どうぞ。

はい、どうぞ上がってください。

(質問者 登壇)

司会 では同じでございます。30秒にまとめていただきます。

どなたが一番最初に言っていただけますか。

では、お名前と住所をお願いいたします。

カミオオタ 業平から参りましたカミオオタと申します。よろしく申し上げます。

司会 テーマはどのような。

カミオオタ 非経済的効果です。

司会 30秒にまとめていただきます。

どうぞ。

カミオオタ 2020年の東京都オリンピックに向けて都市開発とか観光とか、すごい経済的効果が注目されていると思うのですが、私は、例えば、信頼関係など、そういった非経済的効果もより注目されるべきだと思いましたので、今回こういったことを考えました。

以上です。(拍手)

司会 ありがとうございます。

では、後でまた、お話をしていただけたらと思います。

では、どうぞ。お名前。

キクチ 石原三丁目から来ましたキクチと申します。

司会 テーマはどのように。

キクチ 障害者問題なんですけれども、4月から障害者差別禁止法というものが施行されるんですけれども、その中に障害者権利条約の19条、自立した生活及び地域社会へのインクルーシブというのと、障害者基本法の3条、地域社会における共生というのがありまして、それはまさに地域で生きるということだと思えます。

司会 もう中身に入っておりますね。

キクチ はい。

司会 では、ここからスタートということにさせていただきます。

はいどうぞ。

キクチ なので、うちの子供は重度の障害があるんですけれども、高齢者にも小さい子供にも言えることなんですけれども、どんなに重度の障害があっても、地域で生き続けられるようなまちであってほしいと思います。そのためには、どんな整備が必要かとか、これから話し合っていかなければいけないんですけれども、ずっと地域で暮らし続けられるようによろしく申し上げます。(拍手)

司会 ありがとうございます。

では、お願いいたします。

オオノ 横川一丁目からまいりましたオオノと申します。

司会 テーマはどのように。

オオノ テーマはガーデンクラフトシティーすみだ。

司会 では、よろしく申し上げます。

オオノ 3年前、杉並区のほうからこちらのほうに引っ越してまいりました。そのときに感じたのが、非常に電柱が多いこと、それから緑が少ないことです。ぜひ、電柱を引っこ抜いて、そこに街路樹を植えていただきたい。世界で今一番住みたいと言われているまちバンクーバー、それから観光客がなお訪れるシンガポール、どちらも共通するところは緑なんです。ガーデンシティと言われているところ、ぜひ、ガーデンシティの……

司会 二、三秒おまけしましたのに。

では、どうぞ。

では、お名前をお願いいたします。

キタタニ こんにちは。業平五丁目から来ましたキタタニキクオと申します。

司会 テーマはどのように。

キタタニ 今日は、ちょっと僕たち団塊の世代がこれから5年、7年たったときに墨田区がどういうふうな形で進めていただいているのかというのをちょっとお話をさせていただきたいと思います。

司会 それでは、どうぞ。

キタタニ 私自身が、昭和22年生まれで、ちょうど世間で言う団塊の世代、一番日本の人口の中で横幅の広い時代なんですけれども、先ほど区長が、65歳以上が22.8%、私たちがあと7年たって、75になったときに、その割合がどこまで広がっているかというのも計算していただけたらと思います。そのときに、安心して住める、安全で優しいまちすみだであるのかどうか、よろしく申し上げます。(拍手)

司会 ありがとうございます。

はいどうぞ。

チバ 東墨田二丁目のチバと言います。

司会 テーマはどのように。

チバ 用途区分の変更です。

司会 何区分。

チバ 土地用途区分の変更です。

司会 それでは、お願いいたします。

チバ 私は、2年前に東墨田に家を買いました。東墨田の土地の用途は工業地域です。しかし、現状は工場の跡に大型マンションや住宅がたくさん建っています。人口増加率も非常に高くなっています。しかし、新住民からは悪臭や騒音の苦情が多く出ているのが実態です。スカイツリーから3キロしか離れてなくて、2駅しか離れていません。ぜひ、工業区域の用途を変更していただきたい、工業区域……

以上です。(拍手)

司会 ありがとうございます。

では、よろしくお願いいたします。

ハルキ 亀沢二丁目から来ましたハルキです。よろしくお願いいたします。

司会 お願いします。

ハルキ 私が住みたいのは、子育てしやすいまちです。保育園の話になります。

司会 わかりました。

では、お願いします。

ハルキ 現在、ゼロ歳、3歳、5歳の3人の子供がおりまして、出産を機に会社のある埼玉県から実家のある墨田区に引っ越してまいりました。しかしながら、次男は1年間、認可、認証ともに入れませんでした。ことしの4月、3人目の入園を希望していますが、第一希望の園は5人の枠に第一希望だけで24人、合計すると99人も希望者が殺到しており、また入れないのかと絶望的な気持ちになっております。民営化の波に逆らい、希望者がみんな公立保育園に入れるぐらいのことをしたら子育て世代がわっと墨田区に押し寄せるのではないかと思います。よろしくお願いいたします。(拍手)

司会 ありがとうございます。

では、よろしくお願いいたします。

ヤマグチ 亀沢のヤマグチと申します。

司会 テーマはどのように。

ヤマグチ 区民の声に謙虚に耳を傾ける行政の仕組みづくりということをお願いします。

司会 それでは、よろしくお願いいたします。

ヤマグチ 私が住みたいまちと思うのは、具体的に緑が多いというか、子育てもあるんですけども、とりあえず区民の声に謙虚に耳を傾けて行政にすぐ反映していただくシステムをつくってもらいたい。

具体的に言いますと、例えば、区のWebサイトから区民の声を聞く欄があるんですが、

これに出しても全然返事が来ないと、寒くなっちゃいます。ほかの区、江戸川区、江東区、文京区、出したんですけれども、1週間以内に全部返事が来ました。墨田区は返事がありません。これだけ見ても、いかに区民の声を聞いてないか。ありがとうございます。(拍手)  
司会 ありがとうございます。

では、今までの発表を聞いて、ああちょっと言い忘れたなという方いらっしゃいませんか。大丈夫ですか。

それでは、このコーナーはこれで締めさせていただきます。

では、次に、区長と参加者の皆さんとの対話の時間というふうにさせていただきますが、少しセッティングを変えたいと思います。ちょっとお待ちください。

こちらのコーナーでは、まずご意見のある方、ご質問のある方といって挙手をしていただいて、その中からこちらからご指名いたしますので、マイクをお渡しいたします。そこで3分間という縛りがございますが、その3分の中で言っていただいて、それに対し区長にお答えいただく、このようなコーナーになっております。

では、区長、壇上へお願いいたします。

(区長登壇)

司会 では、まず、区長にお伺いたします。

会場の皆さんから先ほど、「住みたい・住み続けたいまち すみだ」について、いろいろな意見が出ました。お聞きになられて、まず率直なご感想をお願いいたします。

区長 どうも皆さんありがとうございました。

大変多岐にわたっているというか、それぞれの方々が、それぞれの思いというか、色々なジャンル、色々なご指摘をいただけてとってもよかったなというふうに思います。

例えば、最近一番課題となっている子供の貧困についてということであったり、マラソン大会なんていうのもいいななんて思ったり、それからインバウンドのお話、活気あるまちの話、それから信頼関係をつくったらどうか、4月以降の障害者差別解消法の関係、それから緑の多いまち、それから区域の変更のお話も今ございました。それから団塊の世代が、今後どうなっていくのか、保育園の切実なお話、それから区民の声をしっかり謙虚に耳を傾けてほしいと、こういうお話、具体的にはWebサイトのお話でしたね。それぞれ、本当にこれは30秒という短い間でしたけれども、非常に切り口として、それぞれの皆さんの思いというのが伝わったというか、大変参考になったというところだというふうに思います。

司会 ありがとうございます。

では、こちらに出された問題の中から、もう少しお話を聞いて、そこから深めていこうと思っております。

では、一番最初にお話しいただいた、子供の貧困についてということで、少しお話しくださったのはどなたでしたか。では、もう少し、ここを具体的にお話しになるとしたら、何かありますか。

ウエダ 一言で言えば、うかつだった。貧困だ、ひもじい、つらい、寂しい思いをしている子供たちが日本にもいたなんてという思いです。まず情報をいただきたい、情報はやはり行政のほうで集めてくださらないと、なかなか周りになかったもんですから、昨日の新聞で荒川区のほうで早速調査に取りかかったというのを見たんですけども、墨田区はどうなんでしょうかとこのところで、情報をいただいたらそこから私たち住民ができること、行政もやっていただくけれども私たち住民ができることを見つけて、できる人ができる範囲になりますけれども、やっていきたい。だから、まず情報集め、情報を伝えてくださる、そこからお願いしたいというのがあります。子供たちが幸せでなければ、ほかの住民の幸せなんて、住みやすいまちってあり得ないなという思いもあります。よろしくをお願いします。

司会 区長いかがでしょう。

区長 大変いい提案というか、まずは、地域でそういう子たちを育てようという、またはその子たちの力になりたいと、こういう思いがあるまちというのは大変素晴らしいまちだし、やっぱり墨田区というのは、そういう下町、人情のあふれる、人が困っていたらそれを助けてあげたい、そういうまちなんだなど。そういう皆さんがたんさんいらっしゃるまちで、うれしいなというふうにまず第一印象として思います。

それから、社会全体の問題として、今、そういう格差のお話だったり、貧困のお話、これを我々のほうも、少し墨田区の実態について、これからしっかり調べながら、いわゆる全体像の実態としてこうなっているという中で、我々行政でできること、それから地域の皆様にご協力いただくこと、そうしたものをしっかり整理をして、我々大人がやるべきことを、残念ながら、例えば勉強したくてもなかなか勉強ができないとか、御飯を食べたいけれども仮に食べれないお子さんがいらっしゃるとか、こういう実態に対して、我々行政や、そして地域の皆さんとの協力の体制の中で、先ほどちょっと空き家対策の話もありましたけれども、整理をした上で少し政策として組み合わせをしていきたいというふうに思いますし、その際に、各地域でご協力いただくことがたくさん出てくるというふうに思いますので、情報というか、そういう実態をしっかり調査をし、協力要請、または我々でできること。これ議会か

らも、予算委員会、これから2月に入るとありますけれども、大変昨年からも言われているお話でございまして、平等にというか、分け隔てなく、そういう子たちがしっかり勉強したい子が勉強できると、その環境によって差別されない、そういう状況をつくってほしいという区議会からの強い要請もありますので、ぜひそういういろいろな角度、いろいろな面に対応していきたいというふうに思います。

司会 ありがとうございます。

ご意見ある方いらっしゃいますか。

では、今度は子育てということについて、少し枠を広げてご意見のある方、いらっしゃいましたら手を挙げていただけませんかでしょうか。

はいどうぞ。

ヤマグチ 亀沢のヤマグチと申します。さっきも発言しましたけれども。

区の人口統計というのを私Webサイトで見たんですけども、大変うれしいことに墨田区の子供の人口ふえているんですね。特に顕著なのが、ゼロ歳から2歳まで、これがほかの3歳、4歳、5歳と比べると地区によっては50%ぐらいふえているところがあるんです。これは少子・高齢化の現代においてすごいもううれしい話ですね。千載一遇のチャンスなんですよ。この子供をここに定着させて、人口をふやせば、将来、税収もふえますし、まちも活気づいてくると。このチャンスを、保育園がないとか、小学校の教室が足りないとか、行政のお粗末な対応で逃がしちゃいけないですね。お子さんには定着して、お母さんたちせっかく頑張って2人、3人と産んでくださっているんで、このチャンスを逃しちゃいけないと思うんです。保育園が足りないなんてという話はもう少なくとも即ゼロにさせていただきたい、それで小学校の教室も足りなくなります。今ゼロ歳、2歳児、ですから保育園ですけども、これが6歳、7歳になれば小学校に入るわけですから、小学校も地区によってはもう二葉小学校なんか足りないですね。パンクしています。こういう学校がどんどん出てきます。これどうするか。今から手を打たないとすぐ教室をふやせませんので、これはすぐ具体的にやっていただきたい。とにかく、このチャンスをみすみす逃すと、これ逃げちゃいます。せっかくお子さん産んでくださっている若いお母さん、実は江戸川区とか、江東区のほうが子育て支援充実しているんです。それみんなお母さん知っています。でも、ここに住んでくださっているんです。教室が足りないとか、保育園が足りないということになれば、もうすぐ逃げちゃって、また若年人口が減って、老人ばっかりのまちになっちゃいます。これでいいんですかという話です。よろしくお願いします。(拍手)



司会 いかがでしょう。

区長 先ほどのお母様、3人のお子さんをお持ちのお母様のお話、その方々だけに限らず、やっぱり墨田区内全体の話であると、保育園が足りない、待機児童がいるんだと、こういうお話が切実にありました。

それから、今のヤマグチさんのお話、まさにおっしゃるとおりで、これは、今後の展開として、我々が早急に手を打ち、限りなくゼロに近づけなければいけない。大変いいご指摘は、その中に学校も統廃合して今小学校25校に絞り込んできている。中学校は10校に絞り込んできていますけれども、実際それで、25校で教室が足らなくなるんじゃないかという、それ地域、学校それぞれによっていろいろな条件出てくると思いますけれども、まさに、先を見て、しっかり行政やれと。これも全くそのとおりだというふうに思います。

実は、昨年の4月の段階で、27年4月1日の段階で、おっしゃるように、保育園に入れなかった待機児童と言われる方が76名いらっしゃいました。実はその前の年が151名です。一生懸命それを整備をして、何とかゼロに近づけて定員をふやすんですけれども、ヤマグチさんおっしゃるように、働く世代の人口が非常にふえてきているので、つくっても待機児童が出る、つくっても待機児童がゼロにならないと、こういう状況が墨田区もそうですし、他の自治体でも続いている状況にあります。

それで、とにかく、これは私、子育て支援を徹底整備して、働く世代や子育て世代の皆さんが幸せに集うまちと、これは区政の基本というか、公約として考えているので、今年の4月1日にも約250名の定員増をしたんですけれども、実際それが申し込み者もふえている中で、今、第1志望が5人定員のところに24人申し込みがあるという、そういう実態で、これ第1がだめだと第2に回っていただいたり、第3に回っていただいたり、何とか希望の中で、うまく待機にならないようにということを調整していくわけですけれども、実際、この4月1日の状況をしっかり見た上で、もう今は整備はしていますので、それでも人口増がどのぐらいあって、どういうふうに待機児童が出るのかというのは、これはここでお話が出るということは、皆さん注目をしていただくことになりますので、その段階で、大至急年度内に新たに定員拡大に努める、または29年4月に向けて、今よりもどれだけ多くの定員増を図って整備をしていくのか、これは区政にとって最大というか、大変大きな課題の一つだというふうに思っています。

司会 そのほかご意見ある方いらっしゃいますか。

では、後ろの。

アンザイ 墨田区本所一丁目、このご近所から来ましたアンザイと申します。

うちも、今、今度3歳児クラスに入る保育園児が1名おります。墨田区は、今、保育所等整備計画というものを打ち出して実行に移そうとしているかと思うんですが、民間委託が本当に安全なのかどうか、22園ある公営の保育所を12園民間に委託したり、譲渡したりするというのが安全なのかどうかという問題、プラス保育所のみならず、今、子供たちも墨田区は増えてきて、人口が増えてきて保育所入れない、かつ今度学童クラブに入れないという問題も地域によっては非常に重要な課題となっていると思うので、あわせて学童クラブの整備も安心して預けられるような施設の増設をぜひお願いしたいと思います。

あと、保育所等整備計画、要は民間委託、民間移譲も、よりよい形で進めていただけるようにご検討していただけたらと思います。

以上です。ありがとうございます。

司会 同じ意見でいらっしゃいますか。少し違うことございますか。

フルカワ 亀沢三丁目から来ましたフルカワです。上のほうから失礼します。

ほとんど同じような内容で、待機児童を減らすのも大事なんですけども、墨田区が責任をもって墨田の子供たちを自身で保育するということがとても大事で、半数以上今ある公立保育園を減らして民間委託するというのではなくて、自治体が責任を持って保育していただきたいなというのを思って、きょう伝えたいと思って来たんで……。よろしくをお願いします。

司会 ありがとうございます。

では。

区長 保育所整備指針で3歳の、それぞれお子様をお持ちの皆さんというのは、そういうところをしっかり関心があって、勉強されているというところだと思います。それで、一つは民間委託、それから地域の中に10園基幹園をつくって、それを中心にしながら民間に運営をしていただく、または移譲をします。こういう計画のもとに今進めさせていただいています。

実際、そのほかにも、例えばですけども、私立保育園、非常に特色があって、園長先生や法人の経営者の方々、すごく元気で、特色ある保育をしている26園の民間私立保育園があります。一方で、おっしゃるように、今、区立保育園が27あって、そのうち数園民間にお願いをしていますね。その状況も見ながら、または私立保育園とも意見交換をしながら、やはりゆくゆくそういう形で、民間にもお願いをしながら、保育の質を落とさずに、それから先生方の元気で動ける、活気のある先生方がたくさんいらっしゃる。そういう保育園に預けていただくということも、これは計画の中ではありだというふうに考えて保育所整備指針は

つくられております。これは、もう皆さんのご心配というのがあります。区立のほうが安心じゃないかと、こういうご心配も当然あるわけで、ここは皆さんのご意見をしっかりちょうだいをしたいと思います。ただ、その流れの中で、先ほども言った、質を落とさずに、そして子供たちを安心して預けられるものをつくっていくというのも我々の仕事であるということもありますので、これは今後の展開として、今の10園基幹園構想、そして、ゆくゆく徐々に民間移譲になっていくという流れの中で、しっかり皆さんのお話を聞きながら、これは進めていくということを申し上げたいというふうに思いますし、そういう中で、墨田に生まれ育って、そして教育も受けてということで、ぜひ、いい子に、墨田らしい子に育てほしいということもご協力お願いしたいと思います。

それから、学童クラブについても、例えば、28年度予算でも新たに一つ増やすとか、それから、今あるコミュニティセンターや児童館を拡大して転用を拡充する、そういうことによって、3年生までの中で、どうしても学童クラブを必要とする、そういう子育てニーズというものに、これもしっかり対応していきたいというふうに思っています。

司会 ありがとうございます。

フルカワ 墨田区というのは、ほかの区に比べても保育園が多い区です。それとてもいいことだと思ったんですが、それを半分以上減らすので、そこを……

司会 具体的なお話を。

ではどうぞ。

テラモト 東駒形一丁目のテラモトですが、きょうはすみだタウンミーティングで、区長が来ていただいたということで喜んで来たんですが、今、話しているのは非常に大切なことだと思うんですが、私たちも後期高齢になると、孫も大きいですし、また特別にそういうふうな催し物をつくっていただいて、今日は色々な私たちに町会の人間でも、会費の問題ですとか、後継者町会に入ってくる問題ですとか、色々あるんです、防犯にしても。

一つだけ子供のことで聞きたいのは、学校では知らない人と話をするなというふうな教え方、同じ町会でも、声をかけたって一つも子供は、小学生でも中学生でも、声はかけてくれないんです。これは区長はどういうふうに思っているのですか。やっぱり隣の子供が挨拶をしないんですよ、今は。それは防犯にしたって、何したって、大きな問題だと思うんです。それは今の保育園も大切かもしれません。墨田区は住みいいとか何とかと言っていますけれども、僕は心はいらだってきます。ばらばらと思います。子供しかり、親もしかりです。そういうふうな人間のコミュニケーションが全然、こういうふうなときに区長がこういうふう

につくってくれた、今までの区長さんがこういうふうにやってくれたか僕は知りませんが、最高の企画だと思います。これをもっと有効な対話にしたいと僕は思います。親御さんの、小さい子供のいる人は、これは大きな問題でしょう。だけれども、それはそれで、また区長さんに時間をとっていただいて、もっといろいろな大きなテーマで話してもらえたら。以上。(拍手)

司会 そうですね、ありがとうございます。

個別なことについては。

区長 保育所整備指針と、それから今後の展開、これをぜひ意見交換あたしましょう。要望みたいなものも当然あるでしょうから、これは、しっかり意見交換をしたいということです。

それから、テラモト会長さんありがとうございます。

テラモト ファンですから。

区長 いやいや。いろいろな話題があるので、今の礼に始まり、礼に終わるの話なんです。私は、いつもこう考えています。地域力日本一のまちにしたいという中で、一番大事なのは、今、会長がおっしゃったとおりでありまして、会長さんおはようございますとか、学校から帰ってきましたとか、やっぱりそういうまちで会う子供たちが、元気に、皆さんと挨拶できる子、学校に入っていくときも、先生におはようございますと言わない子供もちょっといると、帰りも先生きょうはありがとうございましたということで、学校を帰ると。やっぱり、そういう気持ちをつくっていくことが、将来の墨田区につながっていくんだと、発展につながっていくと。

テラモト そう思います。

区長 大げさに言うと、そういうふうに思いますので、これはぜひそういう流れを、これは、例えば教育委員会の皆さんにもそういう徹底をしていただかなければいけないですし、自分自身も、やっぱり職員と朝会えばみんなおはようと、今日も仕事頑張ろうなど、帰るときには、私はこれから会合に行くけれども、皆さんお疲れさんじゃあね、ということで挨拶をして帰るようにしております。やっぱりそういう姿勢を区民全体が持つという、区民運動みたいなものを、ぜひこれは引き続きやっていきたいというふうに思いますので、ご理解よろしくをお願いいたします。(拍手)

司会 ありがとうございます。

では、子供から、区全体に目を広げていただきますと、ご意見、どうぞ。

ウエマツ 東向島在住のウエマツと申します。

引き続き、子育ての話であれなんですけれども、私、先ほどゼロ歳から2歳という話もありましたが、その先の受け皿となる3歳から5歳の保育園の不足について、お願いしたいと思います。

私も、1歳と5歳の育児をしながら、共働きで働いているところですが、1歳の子については、希望した認可保育園には入れず、ゼロ歳から2歳クラスまでしかない小規模保育園というのに今入っております。これは、3歳児クラスに上がるときには、転園するときの優先順位が高くなるような制度がありまして、区で定めている点数票もそのようになってはいるわけですが、例えば、今年度の曳舟、東向島地域の3歳児の募集状況を見ますと、2歳までしか入れない保育園に入っている子供たちが25名おります。それに対して、さらに区の方に確認しますと、曳舟の駅前の再開発に伴って、もう一つ、新しくアトラスですが、2歳までしかない保育園が19名の規模でできるという話を伺ってしまして、そうしますと合わせて44名の2歳児の子供たちが、今度3歳児に上がらないといけないという状況があります。44名のうち、認可保育園では8名しか曳舟地域では募集がありません。そうしますと、44名のうち8名しか入れないということで、優先順位が高いと言われている中でも、高い人が44人いるわけですから、ましてや優先順位が低い人は全く入れないわけですが、明らかに3歳児から5歳児の保育園が不足しているというふうに感じております。入れないと、当然夫婦のどちらかが仕事をやめないといけないような状況にもなってしまいうわけです。ぜひ、3歳から5歳の保育園を新設していただきたいと思っております。

こういった状況の中で、区の方に確認しますと、今事業者の公募も行っているということではあるんですが、適切な土地が見つかるかどうかわからないような状況の中では、小中学校統廃合で生まれるような区有地転用であるとか、あるいは公設民営の考え方、あるいは高齢者の福祉との複合施設などに、さまざまな手段が今全国になされておりますので、そういった事業者任せではなく、行政指導による解決をぜひお願いできればと思っております。ぜひ、時代にあわせた保育園の拡充、お願いいたします。

司会 ご意見ありがとうございました。

区長 子育て問題というのは本当にいろいろ課題がある。待機児童の話もありましたし、実は、ゼロ歳、1歳を強化して、そこがやっぱり多いので、待機児童解消のために小規模保育所というものを整備をして、例えば19名規模で、そこに手厚くゼロ、1のために議論するんですが、そこがやっぱり行政もっと先を読まなければいけないのは、そういうものをつくったときの3歳になったときに一体どうするんだということが少しおくれる、すんなり接続い

かないというところのお話だと思います。おっしゃるとおりで、これは、3歳児対策という言い方は変ですけども、小規模で保育所に入った方が、3歳児にどうなるのかということをもっと真剣にこれ我々も考えて、そこの3歳児対策というものは、これから行政として力を入れていかなければいけないという点と、大変いいご助言をいただきました空き家の話であったり、あいた施設の話であったり、とにかく要は場所を見つけて、そして定員のバランスですね。そこのバランスを保てるような形での整備というものも、年代のバランスというものを保てる整備を、これは早急にしっかり指示を出したいというふうに思っています。とにかく大至急やらなきゃいけないというのが私の感想です。ありがとうございました。  
(拍手)

司会 ありがとうございます。

子育てに対しては本当にまだまだご意見あるでしょうが、テーマは一旦区切らせていただいて、次に移りたいと思います。

では、少しまちに目を広げまして、先ほどのご意見ですと、観光のまちすみだ、なんていうことも出てきましたが、ご意見ある方どなたかいらっしゃいませんか。

どうぞ。

オオサワ 両国から来ましたオオサワと申します。

観光というよりも、そんなに外国人の方とかということじゃなくて、もう少し狭めている形なんですけれども、よろしいでしょうか。

司会 はいどうぞ。

オオサワ 以前、緑図書館で、すみだ文化講座というのを毎月開催しておりまして、墨田にゆかりのある人物ですとか、あるいは忠臣蔵ですとか、相撲とか、そういったことをいろいろな地元の人とか、図書館の方が講師となってお話をしているというもの、結構人気のある講座だったと思うんですけども、あるときから中止になってしまったと。ちょっと真意はわからないんですけども、館長さんがかわって、図書館というのは本を貸すところであって、余計なことをやってクレームをつけられたらつまらないからやめなさいということでやめたらしいんです。以前は、担当していた方もいらっしゃったんですが、もう定年になって嘱託になって、これはいい機会だということでやめちゃったらしいんです。これは、参加している方は結構たくさんいると思うんですけども、区外からもよく来られる方もいまして、忠臣蔵のときなんかもう入れないぐらいな盛況な講座だったんです。特にお金も余りかけてないと思うので、ぜひこれもう一度復活させていただけたらと思うんです。以上でございます。

す。(拍手)

区長 どうもありがとうございます。

おっしゃるように、墨田区伝統、歴史、それから文化施策というものも、私は少し充実をさせていって、観光という観点もそうですし、実際文化施策というものもこれから区民の中で、子供たちの教育も含めて、これはまちの歴史を知ってもらうということも大変大事なことなので、力を入れていかなければいけないという点があります。

その中で、例えば、住みたい・住みたいの中にも、自分の住んでいるまちが一体どんな歴史を持って、どんな文化を持っているかということ、年配というか、子供に限らず、いろいろな方が今学びたいと、そんなことを知りたいという流れもたくさんある中で、緑図書館のやっている文化講座というのは、大変私は貴重で、図書館独自のそういう形で発案をし、そして希望者を募って、みんなで勉強していくんだと、この姿勢というのは大変大事だというふうに思いますが、いつからなくなったのかもちょっと調べさせていただきます。

それから、そういう活動をぜひ私はしていきたいというふうに思いますし、実は、図書館条例というのが墨田区、先日議会とご議論をさせていただいて、我々が出した条例の中に、議員提案ということで、こういう図書館にしるというご意見をちょうだいして、実際に図書館条例をしっかりとつくりまします。その中にも、今おっしゃるような精神というものがしっかりとわれています。我々行政は、図書館条例に基づいて各施策、各事業をやっていくということになりますので、まさにおっしゃる流れをこれからつくっていかせていただきますし、教育面も含めた、または住みたい・住みたいまちにつながるような、そうした文化活動、図書館を中心とした文化活動もこれは発展させていきたいというふうに思いますので、ぜひ皆さん、興味を持ってご参加いただければというふうに思います。ありがとうございます。

(拍手)

司会 文化観光すみだに対して何かこういう意見あるぞという方。

A 区役所にある25万人の平和メッセージです。私も第1回から参加しているんですが、あそこに立派なアートがあるというのを知らない方が結構多いんです。それで、お金がおこっていないかと思って下ばかり見ていて、あそこにあつたのに気がつかなかったという人もいるのね。それで、私は、あそこに飾るんだったら、観光コースに入れていただくか、じゃなきゃソラマチ、26万人、あれ去年は9万羽なんです。それで、もうそれこそ小さいお子さんからお年寄りまでが協力し合っつったものなんです。だから、世界各国から、日本はツルというのは有名ですよ。チェルノブイリのところにも折り鶴の、人間が両手を広げた

ぐらいのが2羽、白と赤の、ツルが飾ってあって「頑張れふくしま」って立っているそうです。NHKで見たんですけれども。そういうふうに、ツルはほとんどの世界の人が御存じだと思うんですけれども、あれソラマチに飾ってもらったら、区役所じゃもったいないんじゃないかと思って言ったら、そうしたら、東武の社長に、あそこは東武の場所だからと言われたんですけれども、本当に区役所に用がない人も多いわけですよ。だから、なんとなく平和のメッセージというのを知ってもらいたい、これは私東京都の自慢、日本の自慢だと思います。よろしくお願いします。(拍手)

区長 大変貴重なご意見ありがとうございます。非常に立派な力作ですね。本当に多くの皆さんがご協力をいただいて、9万羽ですか。折り鶴をああした形で色に分けて、そして、大きな壁一面のすばらしい力作、これが平和のメッセージということなんだと思います。

実は、去年、確かに戦後70年ということで、一つのきっかけだったんだというふうに思うんですが、墨田区はご承知のとおり、東京大空襲で大きな被害を受けて、きょういるガバナンスリーダーの方も当時を伝えるDVDをつくってくれたりして、墨田における戦争の歴史というか、大変つらい思いをした皆さんの声を聞いて、とにかくこのことについて墨田区としては、やっぱりしっかり平和というものをメッセージとして送らなければいけないという立場にあるというのはまさにおっしゃるとおりです。要は、その見せ方であったり、表現の仕方であったり、区民が全体で協力してこうやっているんだよというものをしっかりアピールしなさいと、こういう意味だというふうに思いますので、これぜひみんなで協力、行政側も協力して、どういう形で、すみだのやっている平和のメッセージが日本国中、おっしゃるように世界に発信できるように、ぜひ工夫させていただきたいというふうに思います。ありがとうございました。(拍手)

司会 ありがとうございます。

では前から2番目の方です。

フナキ 太平四丁目から来ましたフナキと申します。

70歳過ぎまして、初めてこういうタウンミーティングに出まして、皆さんの活気ある話を聞いて大変喜んでおります。

私のテーマは、観光です。観光によって墨田区ががらっと変わるということがあるというふうに、先ほどそういう意味では、電柱を取っ払ってくれ。せっかく駅をおりて、墨田トリフォニーに行こうかなと思っても、あ向こうにタワーが見えるなど、ああきれいだなと思ってぱっと下を見たらもう電線だらけ、もうあんなに汚らしい対称的な景色はぜひ解消してほ



しい。先ほどいいお話が出ましたので、私これぐらいなんですけれども。

もう一つ、ぜひ進めていただきたいのが、横十間川とか、川というか運河がありますね。あれをもっとうまく使って、オランダのようになるところまでは行かんかもわかりませんが、運河を行けば大変楽しく旅ができるというか、そういうものをぜひご検討いただきたいな。何かそういう計画はあるんですか。北斎美術館に15億円かけてトリフォニーに5億円かけて、合計20億円かかっているんです、毎年ね。これ多分毎年、北斎はでき上がったらそんなにかからないんですか。基金のほうに1億5,000万円と書いてありましたけれども。細かいことはいいんですけれども、20億円ですから。と同じように、東京のまちの中で、あれだけの立派な水がざっと流れているというのはないわけですから、ぜひ、あれを観光に使うような努力をして、そして、情報をみんなに流すことによって、外国から来る人もずっと船で楽しめるというようなことを企画していただくと、大変まちづくりとしてはいいかなと思うんですけれども。よろしくをお願いします。

司会 いかがでしょう。

区長 墨田は川だと、大変いいご提案をいただきました。両国にも、立派な船着場がありまして、実は区役所の前にも隅田川ですけれども、実は立派な船着場をお金をかけて整備しています。それから、おっしゃるように、北十間川であったり、例えば、スカイツリーの前、あそこもおしなり公園と称して、北十間川をきれいに整備して、遊歩道も整備して、船も小さめの船ですけれども動くような、そういう流れをつくっているわけですが、果たして今までそういう川自体をしっかりアピールできたか、それから有効利用、有効活用できたか、という点においては、整備するお金はかけたけれども、なかなか利用しきれていないという実態にあります。これから、2020年の東京オリンピック・パラリンピック、両国国技館がボクシング会場ということで、世界各国からお客様も見えるというふうに思う中で、例えば、今、舩添知事も言っているのは、しっかり船を活用しよう。羽田から、例えば船で両国まで来ていただいて、そこでボクシング会場、または宿泊をして、スカイツリーに足を運んでいただいて、両国が川の玄関口になって、そして墨田区内を回遊してもらおうと、こういうような川を有効利用するという施策を、これはもう大至急やっていかなければいけないと。

それから、もう1点、実は浅草側から吾妻橋を渡ったり、言問橋を渡って、お客様は、実はスカイツリーに向かって行くんですが、なかなか殺風景な道で、よくこんな道を皆さん歩いていただけるななんて逆に感謝しちゃいますけれども、その中で、今、北十間川、ちょうど東武線の北側区道、それから隅田公園があります。あの辺りを東武さんとも協力をしながら

ら、魅力ある街並みをつくって、ですから川でもちょっと前に進んでもらうような形で、見違えるような形で一部再整備したいと。そのための計画やこれから議会とも相談しながら、少し考えていきたいというふうに思っております。そのスタートダッシュが28年4月というふうになります。まちが、もっともっと魅力的でああいいまちだなと思ってもらえるような整備を、しっかりこれからはやっていきたいと思えます。ありがとうございました。(拍手)

司会 ありがとうございます。

では前から2番目の。

ハツク 緑一丁目から来ましたハツクと申します。

今、川っていうので、区長さんがいろいろお話しされましたけれども、多分無理かなと思うんですが、何かホタルが舞うということは親水公園でも十間川のどこかとか、区役所の裏の墨田公園のあの川です、どこかでなんかホタルというのが舞うといいなって今思いました。

以上です。すみません。

区長 下町の中にそういう光景というのを思い浮かべるととってもいいなと私も今同感に思います。これから、ちょっと近代的などどうしてもまちの整備という流れで行っちゃいますので、先ほど電柱の話もありました、これは、当然国もそういう方向性の中で電線地中化という流れはつくっていくようになると思います。

それから、緑をふやしていくという、そういうことも我々はしっかり努めていかなければいけないと。さらに、そうした自然の生物が共生できるというまちというのは、確かに理想中の理想なんです、それがホタルなのか、ちょっとその辺なんです、実は押上にわんぱく公園というのがありまして、そこで必ずホタル、子供たちに見てもらおう、そういうタベがあります。それから田植えをしたり、ある公園を利用しながら今言ったような田舎と言ったら変ですけども、そういう田園の体験とか、ホタル鑑賞会とか、そういうようなことも実はやっておりますので、ぜひ、そういうしたところで、墨田区の中でもこういうところがあるんだと、そういうふうを感じとっていただくと大変ありがたいと思えますし、まちの中で、今言った自然との共生、いわゆる近代的なまちでありながら、何かそういう自然とも触れ合えるような街並みというの、ぜひ考えていきたいというふうに思っております。

ありがとうございました。

司会 ありがとうございました。

墨田の観光から、墨田の環境のほうに話移ってまいりましたが、一番後ろから2番目の

方。

質問者 都市計画課様のほうでお世話になっているすみだ景観フォーラム実行委員の者です。

先ほどから電線、電柱が問題になっているというご意見がありましたけれども、ちょっと宣伝になるんですけれども、すみだ景観フォーラムのほうでシンポジウムを行います。2月27日、生涯学習センターで電線、電柱や鉄道とか、路地とかを題材にして、景観について話し合いなどを行います。皆さんぜひ来ていただければと思います。生涯学習センター13時半からです。2月27日です。

景観フォーラム、続けていっているんですけれども、何年もやっているんですが、区のほうにどういう形でフィードバックされているのか、都市計画課様から、きちりそういう応答がないように見えます。なので、そういったことをフィードバックがうまくいっているかどうかというのを明確になってくれればいいなとちょっとお願いしたいと思います。

ちょっと時間があるみたいなので、もう一つお願いします。

先ほどそちらでインバウンドについてお話しさせていただいた者なんですけれども、イスラム教徒の方々、皆さんは特に中東の方を思い出すと思うんですけれども、それよりも、今インドネシアとマレーシアの人たちがGNP、GDPが非常に高くなったので、特に日本に観光に行きましょうという人たちがふえています。あと、日本で働こうという人たちもふえています。これに伴って、問題となっているのが、ハラールフードとイスラム教の人たちアルコールと豚肉食べられませんので、これを対策してくれるレストラン、飲食店とかが欲しいと、それと礼拝場所、とにかく礼拝場所はないので、先ほど申しましたとおり、台東区のほうに行ったりとか、知らない人であれば渋谷だとか、世田谷とかに行くみたいなの、そうでなければ、空港まで行ってお祈りすると、そういうことを解消できる場所が欲しいと。この礼拝場所というのは、畳のある部屋とか、和室でもいいみたいなんです。それで、多目的施設でもいいみたいなので、ぜひ、こういった助成などをしていただければと思います。

ありがとうございました。

司会 ありがとうございます。

いかがでしょう。

区長 まず、景観フォーラム、2月27日、私も行けたら行きたいというふうに思っておりますが、非常に毎年色々なテーマで、皆さんが先生と一緒にパネルディスカッション、それで、色々な切り口というか、その年、その年、その会、その会のテーマを絞って、非常に夜景であったり、私も議員時代にも参加をさせていただいて、いいなというふうに思っています。

発想とか、それからこういうふうに考えたらどうだとか、墨田ってこういうのがマッチしているねとか、そういう大変有効な意義あるお話をしていただいているので、役所とうまく、そこは連携がとれればいいというふうに思います。

例えば、今年の電線地中化なんかは、我々もテーマですから、ぜひそこをしっかりと話をしていただいて、ある程度区にこんな話が出たよと、しっかりこれは対策すればどうだと、というような形で、ぜひ成果を我々にフィードバックしていただければ。それを、参考にまた我々のほうも、これはしっかりまちづくり、電線地中化についてのヒントになるように、今回生かさせていただきたいと思いますので、ぜひ盛会をお祈りしたいと思います。

それから、今、インドネシア、マレーシアというお話で、まさにこれは日本の国とも今結構つながりがあるというか、日本で働きたいという方もいらっしゃるという中で、ただ私も、ハラールの食についてこれから研究を進めなければいけないというふうに、これはそれぞれご提言をいただいている方もいらっしゃいます。台東区なんかは、先に進んで始まっております。だから、これ遅れてはいけないなという点が一つ。

それから、礼拝場所については、さすがに私もちょっとそこまで正直今ご指摘をいただくまで、私の頭になかったということで、これ申しわけなくと思いますが、ぜひ研究させてください。それで、台東区には7カ所あって、墨田区は1カ所しかないと、この実態についてもつかんでおりませんでしたので、まず実態の研究をさせていただきたいというのが一つです。これは観光側面という点と多文化と共生という側面が出てまいりますので、その辺も含めて、これは研究材料の一つとして、いい提案をいただいたというふうに思っていますので、また、話、聞かせていただければと思います。ありがとうございました。(拍手)

司会 ありがとうございます。

はいどうぞ。

ウエノ 東駒形三丁目から伺いましたウエノと申します。

最近、やっぱりインバウンドというのは観光経済が非常に重要であるということで、できるだけ多くの外国の方に日本に来ていただきたいというのはよくわかるんですけども、私たちは、イスラムのこと、あるいはキリスト教のことは余りにも知らないわけです。なんで、礼拝堂をつくるとどういようなことがあるのかとか、ハラール料理に含まれるリスクというものが伴うわけですね。観光経済が拡大するというのは非常に好ましいことではあるものの、一方、そこにあるリスクというものをどう考えるのかという、まず、どれだけの方が、イランとイラクの国境がどうでき上がるのかとか、あるいは奉じる御神体が何かというのを知

らないので、拙速に始めるというのはいかがなものかというふうに思うわけでありませう。やはり、フランスのテロ、あるいは各国のテロを見ていますと、今度の2020年の東京オリンピックになるわけなので、それに向かって安全対策と観光振興というのは並行して考えなければいけないんじゃないかと、それでちょっと慎重論を申し上げてしまいました。(拍手)

司会 はいどうぞ。

区長 ウエノさんのお話も、そのとおりなところもあります。これは、やっぱり勉強しなきゃいけない。私も含めて。

それから、先ほどの礼拝のお話も、だから、初めて私の頭の中に入ったお話でしたので、そういうものを各自治体がどうやって用意をしているのかという実態とか、実際に、先ほど申し上げたとおり、観光側面であるのか、他の国の文化をどのように理解をし、そういう受け皿を区としてどうやってつくっていくのかというところに当たりますので、確かに、これは、そこは慎重に勉強しながらやっていかなければいけないという点も世界各国、国際情勢を見ているとありますし、やっぱり2020年のオリンピック・パラリンピックは、実際に、平成27年度1年間でも1,974万人の外国人の方が日本にお見えになったと、これは、もう来年になれば2,000万人超えちゃうでしょうという中で、国の施策として、やっぱり外国人観光客を呼ぼうとしているという側面もございまして、墨田区でも、実際にスカイツリーを中心に多くの外国人の方も来ていただいていると。この辺全体像でしっかり勉強し考えていかなければいけない。それから、一つの時間軸で言えば、オリンピック・パラリンピックまでに、我々墨田区としてどのような体制をとっていくのかというような側面もあるかと思ひます。しっかり、とにかく勉強したいというふうに思っております。ありがとうございます。

司会 ありがとうございます。

では、前の2番目の女性の方お願いいたします。

サノ 江東橋から来ましたサノと申します。

そこに書いてある公共の入札の件という形なんですけれども、墨田区ちょっと無駄が多いのかなと思う部分がたくさんあるんです。公共施設に対して、有名なブランドのユートリアにしてみれば、お手洗いの流しなんていうのは外国のすごい方のデザインだということで、すごい高いんですけれども使い勝手が悪い。すごいそういったことの無駄、それと、また話変わっちゃいますけれども、折り鶴にしても、区役所の方が知らない、勉強不足、すごく勉強不足というのが役所の方がすごく多いと思うのです。何かあって聞きに行っても、たらい回しにされたりとか、それに対して、すぐ答えが出てこない、時間がかかってもいいんですけ

れども、出てこない場合のほうが多かったですし、私も、今、創生委員というのにかかわらせていただいています、そこでいろいろな提案をしています。していますけれども、それに対しての答えが返ってきていない。やっていただいているんだらうとは思いますが、それに対しての改善方法というのも出てきてないと思います。

あと、私もいろいろなボランティアにかかわっていますので、ボランティアの方をもっと大事にしてほしい、勉強させる機会をもっと欲しい。桜パートナーシップというのを皆さん御存じでいらっしゃるでしょうか。桜を守るというのを隅田公園でやっております。そういうのもっと皆さんに知っていただきたいし、年寄り、私もリタイアはまだしていませんけれども、ヘルパーをやっていますので、年寄りに対して、もう少し皆さん敬意をはらってほしい、お子様にも大事ですので、お子様とかかわるとい、そういった機会をもっと与えていただいて、お子様たちにももっと勉強させてほしい、親御さんたちも勉強してほしい。皆さんもう少し勉強してほしいと思うことが多々あります。

司会 ありがとうございます。

お願いします。

区長 何点かにわたって、墨田区役所の弱点と言いますか、改善点、ここをすごく鋭くご指摘いただいたというふうに受けとめました。ある意味、おっしゃるとおりです。これは、一つは、職員のスキルアップの問題、やっぱり区の職員は、私、背私向公という、自分のことには背を向けて、本当に公のために力いっぱい仕事をしようという自分の座右の銘というか、おやじからの遺言があるんですけども、まさに、本当にそういうことの中で、親切な対応であったり、しっかり職員としての自覚を持って、仕事をしていかなければいけないところプラス、やっぱり人間力というか、私地域力はすごくいいまちだって言いますが、役所の人間力が上がっていかないと、地域力日本一なんて目指せないというふうに思っています、ここはやっぱりそういう今のご指摘も踏まえて、これから職員とともに、区民の皆さんとともに、このまちを新しくつくっていくんだと、こういう姿勢を改めて持ちたいというふうに思います。

就任してからも、少しずつ言い続けていますが、なかなか長年にわたるそういう組織風土というものがあります。これは、いいところはいっぱいあるんですけども、今おっしゃったような弱点というか、改善点もありますので、そこはもうちょっと時間をかけて、ああ変わったわねというふうに多分思ってもらえるようになって思っていますので、ぜひ、ご期待をいただきたいというのが1点です。

それから、ボランティアの皆さんに参加を募りお願いをして、なかなかそれを生かしきれていないというか、要は参加していただいたことだけが一つの実績になって、実際にそのことがどんなことなのかとか、どういう思いで皆さんがお手伝いいただいているのかとか、そのことによって、まちづくりであったり、人づくりってどこにつながっていくのかということころが、多分今までうまく整理ができていなかったんだと思います。

その辺を、要はボランティア50人参加してくれましたよ、これで終わりなんです。そうじゃない、そのことによって何が起きて、この人たちは参画してくださっているんだから、一緒にまちづくりのパートナーだという思いで、職員はいなければいけないと思いますし、そういうことがないとボランティアをやっていただく意味も半減しちゃうというふうに思います。

ちなみに、ガバナンスリーダーの皆さんは、地域と、それから行政をつなぐ役割として、1年間しっかり講習を受けて、それでその役割をずっと果たそうとしていただいているわけですが、今回は、この方たちが区長室に突然尋ねてきまして、ぜひタウンミーティングをやるうと、それで、私らに任せると、それは、23区初というか、なかなか自治体でも区民主体でこれをやって、いや我々行政が伝えたいことだけ伝えて終わりというのが今までの区民ミーティングだったんですけれども、これだけ皆さんから意見を聞けて、こういうやり方にしようと言ってボランティアの皆さんが手伝ってくれているというのも、実は今回の一つの意義だと、これによって、多分、この皆さん、今日会場にいらっしゃる皆さんと一緒に、まちづくりができるんだという一つの成果、担っていくんだというふうに思いますので、そんな思いをちゃんと私自身が持って、これは職員とともに前に進んでいくと。それから、感謝の気持ちですよね。感謝がなければ、物は進まないと思います。そういう職員をしっかり育てていきたいというふうに思います。ありがとうございました。(拍手)

司会 ありがとうございます。

お時間の都合もございまして、大変恐縮ではございます。これが最後の質問とさせていただきますが、どうぞ手を挙げていただいて。

ご発言いただいた方はあれなので、一番後ろから3番目の方、それからお一人、そして、お一人と、お三人。

トコロザワ 区長さんどうも、この間も学習センターでちょっと実はご挨拶で出たトコロザワと申します。両国からまいりました。今、85歳に、やっとなりました。元気であることに、非常に誇りを持っております。

ちょっと私申し上げたいのは、先ほど区長さんが話した今回のとは別に、舟運という問題です。たまたま、私教育委員時代から、十何年間にわたって多少なりとも私なりの私見などを申し上げながら、いろいろ提言などもさせてもらいました。したがって、庁内ではおなじみです。非常に区長さんの施政方針も含めまして、広報、墨田の私のバイブルです。施政方針と今の前向きなお気持ち、すごく私も感銘を受けております。私、たまたま海運関係に40年ほど従事しましたもんですから、舟運とか、あるいは水辺空間、それから隅田川とか、そういう問題については、今、区長さんもいろいろ北十間川の問題もお話しされましたけれども、もしそういう機会がございましたら、また次の機会に、いつでも私なりに懇談会でも結構ですし、広報を使っても結構でございますし、ぜひ私なりのささやかな意見を提言したい、なんらかのお力になれると思ひまして、今日はこの場で一言提言という意味でお話しさせていただきます。

以上でございます。(拍手)

区長 どうもありがとうございます。

40年の船のお仕事ということですから、ぜひ、先ほども申し上げましたが、やっぱり墨田区の川を有効に活用すると、そして船で結んでまちがつながっていると。

それから、遊歩道を整備して、船と一体の遊歩道があるとか、とにかくそういう素敵なまちをつくっていきたいと思ひますので、舟運についても、それからまちづくりについても、ぜひまた改めてご提言をお願いしたいと思ひます。ありがとうございました。(拍手)

司会 ありがとうございます。

では、先ほど30秒で聞いて、テーマがなかなか入ってこなかったこちらのことを区長。

区長 一番下です。チバさんのお話。

色々区長への手紙というか、色々なご指摘もちょうだいしております、やっぱり今日のテーマ「住みたい・住み続けたいまち」というテーマの中では、改善すべきところをとにかく改善したらどうだというような提案というか、お話だというふうに思っております。それで、一つは、まち、それぞれ地域の特性とか歴史がありまして、墨田区そういう全体像の中で、これは動いているわけなんですけれども、確かに東墨田の地区について、いろいろなご意見や、それから改善要望や、こうしてほしいというお話というのは常々伺っておりますし、実際チバさんからも何点かちょうだいをしています。ちょっと結論を用途地域というか、工業地域を変えてくれということが最終的なお尋ねだというふうに思ひますが、当然、先ほどから言っている地域、それから共生、ともに生きていくという社会を私たちはつくって



いかなければいけない。その中で、早急に改善しなければいけないこと、それから、法律もありますし、条例もある中で、そこを守っていただかなければいけないところ、そういうところは、適切に時間をかけずに、これはやっぱり我々が改善してくださいということを事業者さんであったり、そういう原因となっているところにお話をしていくというのは、これからも真摯に続けていきたいというふうに思います。

実際に、少しずつかもしれませんが、改善できているところもあるかと思えますし、また、元に戻っちゃったよというお話もあるかもしれません。ぜひ、その辺は、我々もしっかり注意をして、法律を超えていれば指導という立場になりますし、そのところはしっかり今後も引き続きやらせていただきたい。

それから、今後の地域の要望として、今言った工業地域が一体どうなっていくんだというのは、はいわかりました、じゃあ明日からというところにはなかなかないので、これまたいろいろご意見ちょうだいしながら、ぜひ実態も含めて、それからご提案も含めて、お話を聞く機会をぜひつくりたいというふうに思っていますので、よろしく願いいたします。

ごめんなさいね、せっかく30秒で話していただいて。ありがとうございます。

司会 すみません。

では、こちら30秒でお話しいただいた中で。

マルヤマ 3分で終わりますので、よろしくお願いします。

司会 ちょっとこちらを先にお願いいたします。

まずはマラソン大会、墨田区民マラソン立ち上げてというようなお話もありましたが。

区長 大変、いい提案で、実現したいと思います。ただ、これどういうふうに、どこの場所ですというところ、それからやるとなるとある程度大きな規模になりますので、交通関係、いろいろ出てくると思いますが、これは墨田区の名前がついたマラソン大会を早急に企画したいというふうに思っています。

ワタナベ ちゃんと書いてきましたので。

区長 ありがとうございます。じゃ今日お預かりして、参考にさせていただきます。

ありがとうございました。(拍手)

司会 ありがとうございます。

次は、災害対策についてということでお話が少しありましたが。

区長 新しい保健所の話で、これは、いよいよ28年度予算から今ある本所、向島、それぞれ40年以上たって、やっぱり区民の健康をしっかり守る拠点として、どうしても建物のつくり

から、バリアフリーにもなっていないという状況の中で、これは大至急改善をしなければいけない緊急課題だというふうに思っております、これは、ぜひ。色々な機能、これからつくるんですから、最新鋭の最新式の、さらに区民の色々な健康状況をしっかり把握ができて、相談ができて、実際にリハビリができて、予防接種ができてという、とにかく色々な機能がある中で、そういう機能をしっかりみんなで話し合いながら絞り込んで、23区の中で、こんなにすばらしい保健所ができたのかというようなものに最終的には集約をし、区民の健康をしっかりと守る拠点として施設整備をしたいというふうには思っています。ありがとうございます。

司会 ありがとうございます。

では、次に障害者問題、地域で生き続けるためにということで先ほどもお話がございました。いかがでしょう。

区長 キクチさんのお話、これは色々な会でもご一緒させていただいて、それぞれご提案も、それから、色々意見交換もさせていただいているところですが、今日もこうして、この4月からの障害者差別解消法の中でも、やっぱりハード面、ソフト面、我々はしっかり整備をして、健常な方も、障害者の方も、一緒に共生ができ、さらには、やっぱりこれソフト面という中では、この4月からは、そういう思いというものを我々区民や事業者もしっかり頭に入れて、そして一緒に生活していくんだよと、さらには、そういう思いの区民がたくさん増えて、その中で生き続けられる、地域で生き続けられる優しいまちになっていくんだよという、この思いを、ハード面のバリアフリー化というのは、当然計画的にやっていかなければいけないわけですが、まずは、ソフト面の思いの部分、これをどうやったら皆さんと共有できていくのかと。障害をお持ちのお子さんや、親御さんがどんな思いで今生活されているのかということを区民全体で考え、そして、そういう法律にのっとった形で、その精神を区民が共有できる、そういうまちにしていくことは大事なことだというふうに思います。ぜひまた御意見をちょうだいしたいと思います。ありがとうございます。

司会 ありがとうございます。

そして、団塊の世代、70になっても、安心して住み続けられるまち、こういうご意見が…  
…。

区長 これは、一つは、私がお話ししています、高齢者と言われる皆さんが生き生きと健康に暮らし、地域の活動をもっともっと支えていただくと、先輩方が元気で我々を叱咤激励して、何やってんだと、このまちのいいところはここだぞということをぜひ我々にさらに

ご指導いただきたいと、そういう元気なまちになってほしいなという意味があって、そういうふうに実は話をしております。

それから、実は健康面で、これ議会からもご指摘いただくのですが、例えばがん検診であったり、健康診断を受けた後の精密検査のお話であったり、それから塩分の取り過ぎであったり、実は具体的なデータの中で、やっぱり墨田区の健康が弱い部分、区民の健康状態がちょっと他区と比べて弱い部分がありますよ、平均年齢もちょっと低いですよとか、いろいろなデータがあります。この辺のデータをしっかり管理しながら、キタタニさん言うように、2025年対策、それから2040年に一体どのぐらいの高齢化率になって、そういう皆さんがどんな将来元気で生活をしていただいているのか、そういったものは、これから我々は打ち出していかなければいけないというふうに思いますし、やっぱり健康寿命も延ばす取り組みもしていかなければいけないという中で、あと地域包括ケアとか、医療と介護の連携とか、非常にテーマというのは深くて広いテーマです。だけれども、最終的には、ちょっと抽象的になりますが、やっぱりこのまちで老後を過ごしてよかったと、やっぱりこのまちは本当に住みやすかったというまちにしなければいけないので、そういうところも含めて、我々は行政としての役割を果たしていく、それから議会としっかり議論をしていく、そして、そういう中で、実際に65歳を超えた方々に元気で活躍していただく、そんな社会づくりをしていきたいと思っておりますし、113歳の女性が亀沢に住んでおりまして、お元気で、私がこの間、誕生日にお祝いに行きましたら、歌を歌ってくれました。それから百人一首を全部披露してくれました。本当に、お元気ですばらしい方が、見本となる方がお住まいでございますので、そういう方を見習っていただいて、皆様もお元気で、そして、そういう社会づくりに励んで邁進していきたいと思っております。ありがとうございました。

司会 ありがとうございました。

私の力不足で申しわけございません。時間が来てしまいました。なので、ごめんなさい。ほかに挙手していただいた方もいらっしゃったので、これにてご意見は申しわけございません時間が……

区民活動推進課 私、この会の主幹の区民活動推進課でございます。

マルヤマさん、個別のお話、私のほうで承りまして、担当の課のほうにはお伝えさせていただきます。ほかにも、大勢多分ご意見もおっしゃりたい方がいらっしゃると思いますので、私のほうでお伺いさせていただきます。

マルヤマ まだなってないでしょう。

司会 これから少し進行が.....

区長 マルヤマさん、私終わった後、直接伺います。

(「聞いてあげなよ」の声あり)

司会 恐れ入ります。では申しわけありません。

マルヤマ 私は、長年公共事業に携わってまいりましたが、墨田区の公共事業は簡単にはとれないぞという話が同業者からこれまで再三再四にわたり指摘されてきました。入札の落札結果を見ると、常に同じ業者の名前が並んでおり、常連だけが仕事を回しあう結果になっているのは区長さんは御存じでございましょうか。

墨田区の物品の購入の件の契約案件では、1者だけで昨年度だけで墨田区の公共事業だけで合計約3,500件という受注量で毎月300件近い受注をしており、年間受注総額は推計約23億円もの受注があるようでございますが、これで公正な公共事業と言えるのでしょうか。山本区長さんは、こうしたことを把握しておられるのかお尋ねします。

墨田区は、従業員3名程度の中小零細企業が多いのでございますが、こうした企業でも、墨田区の公共事業が受注できるようになるには、まずどうすれば指名に呼んでもらえるのか、どうすれば受注できるのか教えてください。

以上です。(拍手)

司会 ありがとうございます。

お願いいたします。

区長 どうもマルヤマさん大変失礼いたしました。ありがとうございます。

一つは、契約案件、特に物品関係の、今、お尋ねでございますので、そこまで細かく私はつかんでおりません。1件、1件、その契約自体をつかんでいるかということ、今のご指摘の中で、この物件がこうなってこうなってというのはちょっとつかんでおりません。ただ、ぜひ今のご指摘を踏まえて、私のほうで調べさせていただきたいと思います。

その中で、公平に受注ができるようにというふうなお話でありますので、その実態を含めて、変えなければいけない状況であったり、公平性をもし担保するというふうなやり方があるようであれば、それは、適切に対応したいと思っておりますので、ご指摘ありがとうございます。

それから、公共事業で、3名程度の事業者というのが、ちょっとどういう事業者なのか、例えば建設業者さんなのか、物品の.....

マルヤマ 物品関係です。

区長 これについては、当然ルールというか、要綱がありますので、その点ちょっと僕ももう一回よく調べてみて、それで当然公平平等に契約をしていただく、そのルールの中でやっていただかなければいけないと思いますので、どうしたらいいか、担当からお答えさせますけれども、私のほうでも、今の質問については承りました。

司会 ありがとうございます。

担当課 今、区長の指示ございましたので、ご質問の趣旨、後ほどまた詳細承った上で、回答させていただきますので、よろしくお願いします。

司会 ありがとうございます。

では、区長、このようにタウンミーティング2回目になりましたけれども、いかがでしたでしょうか。区長のご感想を。

区長 本当にありがとうございました。

多岐にわたって、それぞれの皆さんから大変貴重なご意見や、お話をちょうだいできたというふうに思います。

今日は、2回目ということで、またこんな多くの皆さんに聞いていただけてよかったなと思います。28年度始まってぜひ僕は続けていきたいというふうに思っておりますので、ぜひ区政に興味を持っていただいて、いろいろなご意見をいただき、それを区政に反映できるように努力をいたしますので、引き続きよろしくお願いをしたいというふうに思います。

今日は本当に、日曜日のお休みのところ、こんなにいい会がもてましたことに、これは皆さんのおかげです。本当に心から感謝を申し上げたいと思います。今日はありがとうございました。(拍手)

司会 では、区長どうぞあちらの席へ。

どうもありがとうございました。今回のタウンミーティング、墨田区では初めての実施ということで、八広でやってここで2回目ということになりました。先ほども申し上げましたが、私の力不足申しわけございません。次回に確実に改善してやっていきたいと思っておりますので、皆様のお手元にアンケート用紙があると思います。そちらに率直なご意見どうぞお書きください。よろしくお願いいたします。

なお、本日は、入り口付近に区の担当職員の無料耐震相談の申し込みというのも受けつけてございます。家具転倒防止の見本の展示などもしておりますので、お時間のある方はそちらもどうぞご覧ください。

では、最後に、閉会のご挨拶、清水委員お願いいたします。

清水 皆さん、本日は大変お寒い中、ご参加いただきましてまことにありがとうございます。

タウンミーティングは今回2回目なのですが、2週間前に八広でやりました。そのときにアンケートにいろいろな意見を書いていただきました。ぜひ、我々の企画と運営のその部分も含めてアンケートにご協力いただきたいと思います。

それから、区長からも話ありましたガバナンスリーダー研修という、墨田区でやっております。我々も修了した仲間なのですが、ぜひ、そこに興味関心のある方は区民活動推進課にぜひお問い合わせいただきまして、いろいろなノウハウも勉強できますので、また私たちの仲間として、一緒に活動してくれる方がいると大変うれしいというふうに思います。

それでは、第2回のタウンミーティングをこれで終了したいと思います。ありがとうございました。(拍手)

司会 それでは、ここで区長、先に退出をさせていただきます。

どうぞ。ありがとうございました。

区長 どうもありがとうございました。(拍手)

司会 では、皆様お気をつけてお帰りください。ありがとうございました。

午前11時57分閉会